

6 その他

6-1 工業技術センター研究開発推進会議

技術革新の急速な進展に対応し、中小企業の技術向上方策に資するため、工業技術センターの研究開発の推進を図り、産業界及び学界の密接な連携のもとに、工業技術センター研究開発推進会議を設けている。委員ならびに会議開催は以下のとおりである。

(第IV期委員 任期平成6年4月～平成8年3月)

区 分	氏 名	所 属	役 職	備 考
産 業 部 門	慶 田 実	県陶業振興対策協議会	会長	
	鮫 島 吉 廣	薩摩酒造(株)	常務取締役	
	相 良 達 之	(株)日本溶接協会	鹿児島県支部長	
	本 坊 慶 吉	(株)県工業倶楽部	会長	委員長
	大 嵩 文 雄	(株)電通鹿児島支社	クリエイティブ課長	
	宮 原 隆 和	(株)エルム	代表取締役	
	川 畑 村 中	本場大島紬織物協同組合	理事長	
	佐々木 幸 久	山佐木材(株)	代表取締役	
学 術 部 門	鎌 田 薩 男	鹿児島大学工学部応用化学工学科	教授	
	山 下 義 信	工学部電気電子工学科	助教授	
	末 吉 秀 一	工学部機械工学科	教授	
	菅 沼 俊 彦	農学部生物資源化学科	助教授	
	染 川 賢 一	工学部応用化学工学科	教授	
	服 部 芳 明	農学部生物資源環境学科	助教授	
	松 村 博 久	地域共同研究センター	センター長	副委員長
行 政 部 門	茂 木 一 司	教育学部美術科	助教授	
	濱 田 隆 道	県商工労働部	部長	
	住 吉 徹	県企画部新技術情報課	課長	
	川 島 健 勇	県商工労働部工業振興課	課長	
	服 部 喜 壽 郎	(財)県新産業育成財団	専務理事	

平成6年度第1回推進会議

開催日時：平成6年8月4日(木)14:00～16:30

開催場所：工技センター小会議室

会議内容：① 委員紹介

- ② 工業技術センターの事業概要について
- ③ 平成6年度研究計画について
- ④ 意見交換
- ⑤ その他

平成6年度第2回推進会議

開催日時：平成7年3月10日(金)13:30～17:00

開催場所：アーバンポートホテル(鹿児島市)

会議内容：① 平成6年度事業の経過及び結果報告

- ② 平成7年度事業計画の概要について
- ③ 工業基盤技術研究事業及び工業技術支援事業のあり方について
- ④ その他

6-2 地域人材不足対策技術開発推進会議

産学官で構成する人材対策推進会議、要素技術研究開発部会、自動化装置等試作部会を組織し、事業実施計画の策定、各テーマの調整、実施成果の審議及び事業に必要な事項について総合的な管理を行い、地域人材不足対策技術開発事業の円滑な推進を図った。

区 分	氏 名	所 属	役 職	備 考
推 進 会 議	永 濱 伴 紀	鹿児島大学農学部	教授	
	宮 里 満	“ 農学部	教授	
	松 村 博 久	“ 工学部	教授	兼試作部会委員
	嶋 崎 孝 行	熊本国税局	鑑定官室長	
	中 山 昌 春	九州通商産業局商工部	技術振興課長	
	陣 内 和 彦	通商産業省九州工業技術研究所	所長	
	吉 野 馨	県酒造組合連合会	専務理事	
	藤 山 敏 巳	(株)フジヤマ	代表取締役社長	
	服 部 喜 壽 郎	鹿児島新産業育成財団	専務理事	
	濱 田 隆 道	県商工労働部	部長	
川 嶋 健 勇	“ 工業振興課	課長		
原 尚 道	県工業技術センター	所長		
要 素 技 術 研 究 開 発 部 会	橋 本 稔	鹿児島大学工学部	助教授	要素技術部会長、兼試作部会委員
	宮 島 廣 美	“ 工学部	助教授	
	菅 沼 俊 彦	“ 農学部	助教授	
	石 黒 悦 爾	“ 農学部	助手	
	河 野 澄 夫	農林水産省食品総合研究所	非破壊評価研究室長	
	濱 崎 幸 男	県酒造組合連合会	特別研究員	
	塩 満 光 栄	(株)西中製作所	代表取締役社長	
	宮 原 隆 和	(株)エルム	代表取締役社長	
	大 重 正 年	(株)フジヤマ	技術部長	
	山 田 式 典	県工業技術センター	副所長	兼試作部会委員
	長 谷 場 彰	“ 食品工業部	部長	“
	泊 誠	“ 電子部	部長	“
	遠 矢 良 太 郎	“ 木材工業部	部長	“
清 藤 純 一	“ 機械金属部	部長	“	
自 動 化 装 置 等 試 作 部 会	松 村 博 久	鹿児島大学工学部	教授	試作部会長
	橋 本 稔	“ 工学部	助教授	
	服 部 芳 明	“ 農学部	助教授	
	古 橋 中 具	工業技術院電子技術総合研究所	主任研究官	
	鮫 島 吉 廣	薩摩酒造(株)	常務取締役	
	松 永 祐 吉	鹿児島新産業育成財団	事務局長	
	弓 指 浩 一	(株)西中製作所	開発部課長	
出 口 智 靖	(株)エルム	開発設計係長		
中 川 民 海 男	(株)フジヤマ	常務取締役		

平成6年度第1回推進会議

開催日時：平成6年7月29日(金)13:30～16:30

開催場所：城山会館（鹿児島市）

会議内容：① 地域人材不足対策技術開発事業の実施概要について

② 平成6年度要素研究及び試作内容について

ア 非接触型の不良イモ検出センサー開発の基礎研究と試作内容

イ 画像処理による不良イモの選別・加工技術の基礎研究と試作内容

ウ カットイモの酒質に及ぼす影響評価及び蒸煮技術の基礎研究と試作内容

③ 意見交換

④ その他

平成6年度第2回推進会議

開催日時：平成7年3月17日(金)13:30～17:00

開催場所：グリーンホテル錦生館（鹿児島市）

会議内容：① 地域人材不足対策技術開発事業の実施概要について

② 平成6年度要素研究及び試作内容について

ア 非接触型の不良イモ検出センサー開発の基礎研究と試作内容

イ 画像処理による不良イモの選別・加工技術の基礎研究と試作内容

ウ カットイモの酒質に及ぼす影響評価及び蒸煮技術の基礎研究と試作内容

③ 意見交換

④ その他

6-3 研究交流推進事業

先端技術などの積極的な取り組みや研究開発能力の強化を図るため、高度な知識技能を有する研究者を招へいし、または先進研究所へ研究員を派遣して、研究機能の充実を図ることを目的とする。

6-3-1 招へい研究

研究者氏名	招へい研究者の所属・職	研究テーマ	期間	担当部室
釜堀 文孝 権藤 常人 石川 善朗	佐賀県工業技術センター・特別研究員 (株)テクノキッズ・開発課長 青森県工業試験場・技師	デザイン情報のデータベース化に関する研究	12.14～16 1.24～27 2.20～24	デザイン開発室
相島 鐵郎 木田 健次	キッコーマン(株)・研究副部長 熊本大学工学部・助教授	発酵食品の品質評価に関する研究	11.21～22 3.7～9 3.28～29	食品工業部
信田 聡 松田 健一 有馬 孝禮 樋本 敬大 服部 芳明	東京大学農学部林産学科・助手 鹿児島大学教育学部技術科・教授 東京大学農学部林産学科・助教授 東京大学農学部林産学科・助手 鹿児島大学農学部生物環境学科・助教授	中小断面集成材の製造技術及び塗料用樹脂の研究	2.16～18 3.15～16 3.19～21 3.19～21 3.23	木材工業部

6-3-2 派遣研究

研究者氏名	派遣研究先	研究テーマ	期間	担当部室
井上さより	工業技術院物質工学工業技術研究所	腐食現象の電気化学的測定評価技術の研究	5.9～6.3	化学部
飯屋 一昭	農林水産省食品総合研究所	焼酎原料の自動供給システムの研究開発	5.23～6.21	電子部
森田 慎一	農林水産省森林総合研究所	植物成分の生物活性機能の検索	7.4～8.2	木材工業部

6-4 職員派遣研修

職員名	研修先	研修名	期間
高峯和則	ネブラスカ州立大学付属農業天然資源研究所農産物加工センター	でんぷんの工業用素材としての新用途開発	H5.8.13～H6.8.20
袖山研一	中小企業大学校東京校 科学技術庁金属材料技術研究所	中小企業技術指導員養成課程 (6カ月コース) 新材料コース	5.11～11.30
尾前 宏	中小企業大学校東京校	メカトロコース1カ月コース	9.12～10.12
山田式典	〃	公設試験研究機関管理者研修(3日間コース)	11.9～11

6-5 離島地域技術おこし支援事業

当工技センターでは、平成2～4年度に「一日工業技術センター開催事業」を行い、離島地域を対象に技術指導・技術相談会・講習会等を行い地域産業の技術ニーズ・技術課題の把握と工業の振興を図った。その結果、現地企業では製造工程の改善や新製品開発への取り組みがなされたが、新たな起業化への積極的取り組みのために、集中的な技術支援を求める強い要請が当センターに寄せられた。

本事業は、これらの要請に応え、離島地域の産業に技術の高度化と新技術の導入による新製品開発を目指した集中的な技術支援を行い、起業化を促進することにより、離島地域における産業の振興を図ることを目的とする。

本年度は技術支援の他に、事業の最終年度であることから、今までの技術支援の成果として得られた製品を展示し、地域関係者の評価を受けながら研究の成果を広く活用してもらうための成果発表会を開催した。

本年度行った活動を以下に示す。

6-5-1 プロジェクト・チームと活動内容

プロジェクト・チーム	取り組んだ課題	活動内容
企画情報室 間世田春作 " 中村 俊一 デザイン開発室 上原 守峰 山田 淳人 食品工業部 吉村 浩三 化学部 仁科 勝海 木材工業部 中村 寿一	①新しい黒糖製品の開発 ②地域の植物を利用した染め織り製品の開発 ③屋久杉と離島産広葉樹を利用した木製品の開発	①プロジェクト会議 5月18日、7月8日、11月8日、12月13日の4回開催し、成果発表会に向けての準備や事業の円滑な推進を図った。 ②調査と支援活動 宮崎での調査（4月） 屋久島での支援活動（7月、10月、11月、1月）

6-5-2 成果発表会

展 示 品	開 催 場 所	開 催 日 時	来 場 者
① 説明パネル 14枚	本場奄美大島紬協同組合 (名瀬市)	平成7年2月1日(水) ・成果品等の展示： 10時～16時30分 ・事業説明会： 10時30分～11時30分	120
② 研究・試作品 (黒糖製品関係 9種類) ・黒糖製品のデザイン及びパッケージ ・ショッピングバック ・黒糖製造工場の総合的CI戦略の提案 (染織製品関係 14種類) ・ランチョンマット ・はがき ・ふろしき ・ハンカチ ・テーブルセンター ・財布 ・ポケットチーフ (木製品 9種類) ・花台 ・ちり箱 ・コップ類 ・筆立て			
	屋久町総合センター (屋久町)	平成7年2月8日(水) ・成果品等の展示： 10時～16時30分 ・事業説明会： 10時30分～11時30分	53

6-6 企業研究者等育成事業

本事業は、県内企業の技術者や研究者を組織化し、技術ニーズの課題解決のための技術研究活動を行い、企業の技術力向上と企業経営の多角化、新分野への進出を進めようとするものである。

平成4年度に12の「鹿児島ハイテク研究会」が組織化され、本年度は最終年度である。3年間の活動内容は下記のとおりである。

研究会名	チームリーダー	幹事	活動内容	会員数
さつま味噌技術研究会	藤安醸造(株) 藤安秀一	食品工業部 吉村浩三	本県味噌業界の技術的諸問題の解決及び新製品開発について研究活動を行い、各会員の製造した味噌を集め味噌鑑評会を開催した。さらに全国味噌鑑評会にも出品した。	28
大島紬染色加工研究会	(株)益田織物 益田勇吉	化学部 仁科勝海	大島紬の染織加工技術の開発・向上を目標に活動を行い、課題に取り組んだ。このうち泥染染色における摩擦堅ろう度を向上については処理方法の確立と開発を行った。	15
SR(シラスリサーチ)研究会	(株)シラックスウ 関博光	窯業部 中重朗	シラスの高度利用と用途拡大を目標に、当初は全体で活動したが、現在は効率的な活動のために、コンクリート、高分子、建材、原料の分科会で課題を検討している。	18
CAD/CAM研究会	岩崎産業(株) 奥平真	機械金属部 市来浩一	CAD/CAMシステムを有効利用し、三次元形状の設計製作、シミュレーション及び金型設計の研究活動を行う。勉強会を通し、会員の技術力向上を図ることができた。	8
接合技術研究会	(株)泰平 吉満裕二	機械金属部 森田春美	企業が抱える切削・研削加工技術上の問題点を解決しながら従来工具と新しい工具の切削性能比較試験を行い、当該技術の向上、効率化を図った。	8
難削材加工技術研究会	(株)健康医学社 中村清徳	機械金属部 前野一朗	講習会や企業訪問を行い、一般的な溶接作業工程、自動化技術の現状を研究し、品質、コスト、納期等の問題点を討議、研究した。会員の技術力向上を図ることができた。	6
電磁ノイズ対策技術研究会	(株)テクノポート 富山成善	電子部 尾前宏	伝導性及び放射性ノイズの測定・対策技術について、勉強会や講習会等を通して研究活動を行い、電子機器の誤動作対策技術を中心とした技術力向上を図ることができた。	5
情報ネットワーク技術研究会	(株)テクノポート 林孝一	電子部 永吉弘己	LAN及びインターネットをはじめとする広域ネットワークやパソコン通信等の情報通信技術について、講演会の開催や情報交換を行い、会員の技術力向上を図った。	8
知的情報処理技術研究会	(株)測上マイクロ 南崎信哉	電子部 久保敦	ファジィ・ニューロ・カオス等の知的情報処理技術について講演会の開催や情報交換を行い、会員相互の知識を高めることができた。	9
木材乾燥技術研究会	岩崎産業(株) 橋口信幸	木材工業部 山之内清竜	「木材乾燥コストの低減化」を共通課題に取り上げ、「スギ一般製材品の乾燥」について乾燥技術の確立や乾燥材の啓蒙促進の必要性に焦点を絞ることができた。	11
食品工業技術研究会	サツマ化工(株) 松久保好太郎	食品工業部 安藤浩毅	幅広い県内の食品工業関連企業が参加し、各企業の工場見学を行い、それぞれの専門分野を通じて技術的な問題点取り上げ、意見交換と共通課題の抽出を行うことができた。	9
さつま工芸会	(株)山王産業 山王博和	デザイン開発室 滝下隼人	県内の様々な工芸分野の交流を行うことにより、県外に発信できる新しい工芸品の開発を目指した。各会員が異種素材を組み合わせた試作品を集めた展示会を開催できた。	12

なお、本事業の円滑な運営のために以下の会合を開催した。

○ 運営委員会

- ・開催日時：平成6年7月6日(水)午後3時～午後7時30分
- ・開催場所：城山会館(鹿児島市)
- ・会議内容：①研究会の活動について
②合同会議の進め方について
③事業のまとめ方について

○ 産学官研究交流活動合同会議

- ・開催日時：平成7年2月14日(火)午前9時～午後2時10分
- ・開催場所：工業技術センター
- ・会議内容：①研究会の活動について(3年間の活動内容とまとめ)
②研究会の今後の取り組みについて

6-7 生涯学習県民大学

「知って得するくらしの科学」講座を平成6年7月18日(月)～平成6年8月9日(火)まで開講(30.5時間)し、27名が受講した。

期日	学 習 内 容	講 師 名	所 属 ・ 職 名
7.18	開講式	運営委員会	
	オリエンテーション	水元 弘二	工業技術センター企画情報室
7.19	窯の遺跡調査	関 一之	加治木町役場教育委員会 社会教育課学芸員
7.20	検査のいろいろ	瀬戸口正和	工業技術センター機械金属部
7.21	さつまいもの加工いろいろ	藤本 滋生	前経済連食品総合研究所所長
7.26	くらしと電気-PART I	尾前 宏	工業技術センター電子部
7.27	廃棄物処理について	樋口 義宏	㈱県環境技術協会調査部主幹
7.28	生活を潤すデザイン(実技)	森重 匡世	㈱フォーエム 代表取締役
7.29	家具工芸品の上手な使い方	飯田 正毅	旧県木材工業試験場研究部長
8. 1	くらしと電気-PART II	宮脇 優	九州電機製造(株) 鹿児島営業所所長
8. 2	しょうちゅうの話	瀬戸口真治	工業技術センター食品工業部
8. 3	温泉について	黒川達爾雄	旧県工業試験場場長
8. 4	カメラやビデオの上手な使い方	藤田 純一	工業技術センターデザイン開発室
8. 5	車の話	星野 昭平	㈱トヨタ車体研究所専務取締役
8. 8	非金属材料そしてシラスの話	國生 徹郎	工業技術センター窯業部
8. 9	屋外で木材を使ってみよう-エクステリアウッドについて	中村 寿一	工業技術センター木材工業部
	卒業式	運営委員会	

(運営委員会)

- ・委員長：原 尚道
- ・副委員長：山田 式典
- ・委員：九万田 登，水元 弘二，滝下 隼人，川畑 妙子，間世田 春作

6-8 委員の委嘱

委員名（委嘱内容）	職員名	依頼機関
（財）県中小企業振興公社貸付審査委員会委員	原 尚 道	（財）県中小企業振興公社
南九州電磁波技術研究会副会長	”	南九州電磁波技術研究会
県金型技術開発推進協議会研究開発委員会委員	”	県金型技術開発推進協議会
地域産業活性化委員会委員	”	（財）県新産業育成財団
研究開発審査委員会委員	”	”
県人材育成センター運営委員会委員	”	”
平成6年度伝統製法食品審査委員会委員	”	県農政部流通園芸課
屋久杉フェスタ審査委員	”	県屋久杉事業協同組合
県木材産業等高度化推進資金運営協議会委員	山 田 式 典	県林務水産部
特産品等販路開拓推進委員	”	県商工会連合会
技術基盤強化支援事業エキスパートに係る指導員	水 元 弘 二	”
第36回全国味噌鑑評会審査委員	”	全国味噌工業組合中央会
県人材育成センター企画運営委員	”	県人材育成センター
平成6年度組織強化委員	”	県中小企業団体中央会
技術支援アドバイザー	”	（財）県特産品協会鹿児島 ブランド支援センター
産地形成促進施設事業策定専門委員	”	（財）鹿児島総合研究所
第5回薩摩焼フェスタ「かごしまくらしの陶芸展」審査員	滝 下 隼 人	薩摩焼フェスタ実行委員会事務局
県人材育成センターカリキュラム編成委員	滝 下 隼 人 清 藤 純 泊 一 誠 長 谷 場 彰	県人材育成センター
川辺仏壇伝統工芸士認定産地委員会委員	上 原 守 峰	伝統的工芸品産業振興協会
平成6年度技能検定委員（床仕上げ）	”	県職業能力開発協会
異業種交流推進協議会委員	長 谷 場 彰	県食品産業協議会
熊本地方酒類審議会委員	長 谷 場 彰 瀬 戸 口 真 治	熊本国税局
南九州化学工学懇話会鹿児島地区企画委員	安 藤 浩 毅	南九州化学工学懇話会
平成6年度エネルギー環境対応指導員	出 雲 茂 人	中小企業事業団

委員名（委嘱内容）	職員名	依頼機関
電気めっき排水処理巡回指導員	出雲茂人	九州通商産業局
海水淡水化検討専門部会委員	〃	県地域政策課
与論町地域エネルギー開発事業化可能性調査委員会委員	〃	与論町
桜州小学校校舎パラペット崩落事故調査委員会委員	〃	西桜島町
日本化学会九州支部幹事	〃	(社)日本化学会九州支部
腐食防食協会九州支部幹事	〃	(社)腐食防食協会九州支部
環境技術会議委員	出雲茂人 田畑一郎	(財)県環境技術協会
シラス等新素材部会専門委員	田畑一郎	県資源開発協議会
県陶業振興対策協議会専門委員	〃	県陶業振興対策協議会
薩摩焼フェスタ実行委員会企画委員	田畑一郎 寺尾剛	薩摩焼フェスタ実行委員会
九州地区溶接技術検定委員	清藤純一	(財)日本溶接協会
鹿児島頭脳センターカリキュラム編成委員会委員	〃	(財)県新産業育成財団
平成6年度技能検定委員(機械加工, 機械保全, セラミックス製造)	前野一朗	県職業能力開発協会
平成6年度技能検定委員(鉄工技術, 溶射技術)	森田春美	〃
平成6年度技能検定委員(溶射技術)	瀬戸口正和	〃
平成6年度技能検定委員(機械検査)	市来浩一	〃
鹿児島頭脳センターカリキュラム編成研究会研究員	泊市来浩一	(株)鹿児島頭脳センター
地域人材不足対策技術開発事業要素技術研究開発部会委員	泊誠	県大島袖技術指導センター
かごしまウッディテック・フォーラム委員	陣内和彦 原尚道 山田式典 遠矢良太郎 森田慎一 山之内清竜	かごしまウッディテック・フォーラム
企画部会委員	遠矢良太郎	(社)日本木材加工技術協会九州支部
県特用林産振興協議会委員	〃	県知事
塗装技術開発委員会委員	森田慎一	(社)日本木材保存協会
日本木材学会連絡幹事	〃	日本木材学会

6-9 視察・見学者

月日	企業・団体名等	人数	月日	企業・団体名等	人数		
4.20	県立沖永良部高校	71	10.24	全羅北道公務員研修団（大韓民国）	36		
〃	県警察本部教養課	32	10.25	香港代表団（香港）	20		
4.27	江蘇省科学技術協会（中国）	25	11.7	鹿児島市立広木小学校	52		
4.28	県立隼人工業高校	172	11.10	枕崎市文化協会	40		
5.10	全羅北道知事一行（大韓民国）	26	11.15	溝辺町立綾南小学校PTA	30		
5.12	霧島工業クラブ	25	11.17	フィリピン大学（フィリピン）	1		
〃	江蘇省科学技術協会（中国）	7	11.18	経済協力シンポジウム（中国 フィリピン、マレーシア、タイ、チリ）	13		
5.18	松元町立春山小学校	57	〃	宮崎県西地場産協議会	20		
〃	宮崎県商工労働部（宮崎県）	5	11.21	全羅北道公務員研修団（大韓民国）	44		
5.20	日中こども交流（中国）	10	11.22	邑面洞公務員（大韓民国）	28		
〃	加治木総務事務所	50	11.29	伊集院地区生活改善グループ	60		
6.9	県立宮之城農業高校	39	11.30	肝属老人クラブ	30		
6.10	北海道議会事務局（北海道）	15	12.1	県立出水商業高校	40		
6.13	YS会（横川町進出企業連絡協議会）	23	12.2	地方シンクタンク協議会	15		
6.20	全羅北道公務員研修団（大韓民国）	30	12.6	高尾野町長一行	25		
6.21	沖縄県商工労働部（沖縄県）	5	12.8	県立農業大学校	30		
6.28	県立鹿児島西高校PTA	50	12.19	兵庫県繊維試験場（兵庫県）	2		
6.29	福岡県工業技術センター（福岡県）	3	1.12	太陽光発電技術研究会	20		
7.4	全羅北道公務員研修団（大韓民国）	33	1.13	財部町、栗野町議員	44		
7.15	鹿児島大学教育学部	27	1.19	県商工連合会	15		
7.22	国連地域開発センター（インドネシア地方開発庁職員）	24	1.25	高知県工業技術センター（高知県）	2		
7.25	紀宮さま		〃	鹿児島大学農学部	15		
8.9	県総合教育センター	30	1.27	九州テクノポリス会議一行	30		
8.10	ディスカバーかごしまふれあいバス（広報課）	56	2.1	アジア太平洋国際シンポジウム一行	10		
8.18	特許庁（東京都）	1	〃	ディスカバーかごしまふれあいバス（広報課）	96		
8.22	鹿児島市立清水小学校教職員	13	2.9	産業高度化施設連絡協議会	50		
8.26	熊本県商工労働部（熊本県）	20	2.13	佐土原町議会事務局（宮崎県）	20		
8.31	県議会事務局	15	2.15	県警生活安全課	45		
9.14	ディスカバーかごしまふれあいバス（広報課）	46	2.23	玉利自治公民館、伊集院地区公民館	50		
9.20	県警本部	4	3.2	鹿児島高等技術専門校	50		
9.29	鹿児島大学農学部	17	3.15	山口県工業技術センター（山口県）	2		
9.30	通産省研修生（東京都）	2	3.17	科学技術庁（東京都）	1		
10.3	（財）神奈川県高度支援財団（神奈川県）	2	3.24	鹿児島市消費生活センター	40		
10.14	ディスカバーかごしまふれあいバス（加治木総務事務所）	50	3.27	栗野町学校給食関係者	3		
10.17	ディスカバーかごしまふれあいバス（大隅総務事務所）	50		県内	県外	国外	計
10.20	県立国分高校	50	件数	125（件）	13	13	151
〃	鹿児島大学工学部機械工学科	50	人数	2,575（人）	80	297	2,952